

令和6年度 栃尾森林事務所 部内概要



小池新道入口付近より



林野庁 中部森林管理局
飛騨森林管理署 栃尾森林事務所

<管内図>



<地理>

栃尾森林事務所は岐阜県北東部に位置し、北アルプスの高山市奥飛騨温泉郷内の国有林を管轄しています。日本の屋根と呼ばれる北アルプス、飛騨山脈の一端をなす笠ヶ岳、抜戸岳、弓折岳、樺沢岳、槍・穂高連峰、焼岳、乗鞍岳の山々が連なり、その景観は雄大で壮絶です。9,576haの国有林においては、その標高は1,131m(福地)から3,189m(奥穂高岳)におよび、複雑で急峻な地形となっています。古くから奥飛騨温泉郷は飛騨と信州を結ぶ峠道であり、鎌倉時代には北陸諸国と関東をつなぐ鎌倉街道が新穂高温泉から中尾峠を越え、焼岳の中腹を巻いて信州に延びていました。現在は、国道41号線と158号線471号線により、富山や長野へと通じています。

気候は、山岳特有の天候急変の山岳気象に影響されるところが大きく、気温の年較差が大きい内陸性気候を示します。年平均気温は約9.9℃と低い地域です。年間降水量は約2,000mm、年間積雪量は約600cmと県下でも有数の豪雪地帯です。時には局地的豪雨に遭うこともあります。

北アルプスの絶景や地勢は多くの登山者の憧れであり、季節を問わず多くの登山客が訪れます。また、奥飛騨温泉郷には温泉地や、飛騨・美濃紅葉三十三選にも選ばれている見事な紅葉があり、観光にも人気のエリアです。

水系は、槍・穂高連峰、笠ヶ岳を源とした右俣、左俣両溪谷を流れる蒲田川と乗鞍岳・安房を源として流れる平湯川に別れ、これらが合流して高原川となっています。高原川は富山県猪谷で宮川と合流し、神通川を担う水系として日本海に注いでいます。

地質は、部内周辺は、飛騨外縁帯の構造が見られ、飛騨変成岩、飛騨花崗岩等で構成されています。また、高原川、蒲田川周辺は温泉が湧出しています。また、比較的標高の高い地域であり基岩は酸性岩が多いため、ポドソル化土壌の占める割合が高く、標高1,600m以上の山地では大部分が湿性ポドソルとなっています。標高1,600m以下は、おおむね褐色森林土で占められています。

<林況>

栃尾森林事務所部内は国有林の標高差が2,400mにも及ぶため、多種多様な植生を観察することができます。

天然林については、標高1,800m付近までの比較的緩傾斜地にブナ、サワグルミ、トチノキ、シナノキ、カツラ、ホオノキ、カエデ、ミズメ、ウダイカンバ、シラカンバ等の広葉樹が多く見られ、急傾斜地の尾根筋及び岩石地では、ヒノキ、サワラ、ネズコ等の針葉樹の植生が見られます。また、標高1,600m付近からブナ、サワラ等も混交しはじめ、徐々に亜高山常緑針葉樹のアオモリトドマツを主体とするコメツガ、トウヒ、シラベやダケカンバ等亜高山植生へ変化していきます。標高2,400m付近よりハイマツの群落が見られるようになり、ナナカマド、ダケカンバ、ミヤマハンノキ等が群集するハイマツ帯が標高3,000m近くまで続きます。また季節には、山岳地帯で綺麗な高山植物の一斉開花が見られることもあります。

人工林の中心は、高海拔で多雪地帯の標高1,000~1,500m地点となり、カラマツを筆頭にスギ、ヒノキ、サワラ等を植栽しています。

<国有林の機能類型について>

林野庁はその主な目的に応じて国有林を5種類の機能類型に分類しています。栃尾森林事務所部内にはそのうち主に3種類の機能類型が存在しています。

保安林と国有林の機能類型の最大の違いは、保安林が国民の安心・安全な生活を守ることを念頭に置いているのに対して、国有林機能類型は森林の持つ機能を最大限に発揮するためにどのように管理していけばよいのかを念頭に置いているという点です。

区分	管理経営の考え方	面積割合
山地災害防止タイプ	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	44.0%
自然維持タイプ	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持	55.6%
森林空間利用タイプ	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	0.4%

<レクリエーションの森>

栃尾森林事務所管内には、レクリエーションの森として平湯国有林に風致探勝林が設定されています。平湯の風致探勝林は、平湯温泉の後背林で多様な樹種からなる針広混交した天然林となっています。

林内には、森の巨人たち100選にも選ばれている巨樹・巨木の「平湯の大ネズコ」があり、歩道も整備されていることからハイキングなどに適しています。中部森林管理局HPに掲載している国有林おさんぽMAPの「平湯大ネズココース」を参考にしてみてください。

詳細

(<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/welcome/invitation/sanpo-map.html>)

<保護林>

管内においては、保護林として平湯ダケカンバ遺伝資源希少個体群保護林と乗鞍岳生物群集保護林の2つが指定されています。

平湯ダケカンバ遺伝資源希少個体群保護林は原生的なダケカンバの群生地です。ダケカンバは亜高山帯の落葉広葉樹を代表する種であり、このダケカンバを保存することにより主要林業樹種としての材木遺伝資源としています。

乗鞍岳生物群集保護林は、乗鞍岳山頂部に広がる火山群、カルデラ（湖沼）等の特徴ある地形・地質と亜高山帯から高山帯に分布する植生等により構成される生態系、景観等を保護することを目的としています。乗鞍岳では標高2,500 m付近から山頂に向けて広大なハイマツ等の群落が生育し、特別天然記念物でもあるライチョウの生息地となっています。

<国有林野別面積>

国有林名	林地面積 (ha)			保安林面積 (ha) ※一部重複あり、林地以外も含む			
	人工林	天然林	計	水源かん養	土砂流出	干害防備	保険
カベ下		137.17	137.17		137.17		
穂高	24.89	4,249.11	4,274.00		6,170.68		
焼岳		575.49	575.49		808.13		
白谷		143.61	143.61		211.49		
平湯		946.25	946.25	1,495.57			
カイシラ山	53.50	216.36	269.86	271.37		44.51	30.27
福地	39.54	242.32	281.86	288.30			
柏当		117.67	117.67	20.07	97.60		
計	117.93	6,627.98	6,745.91	2,075.31	7,425.07	44.51	30.27

<令和6年度の事業予定>

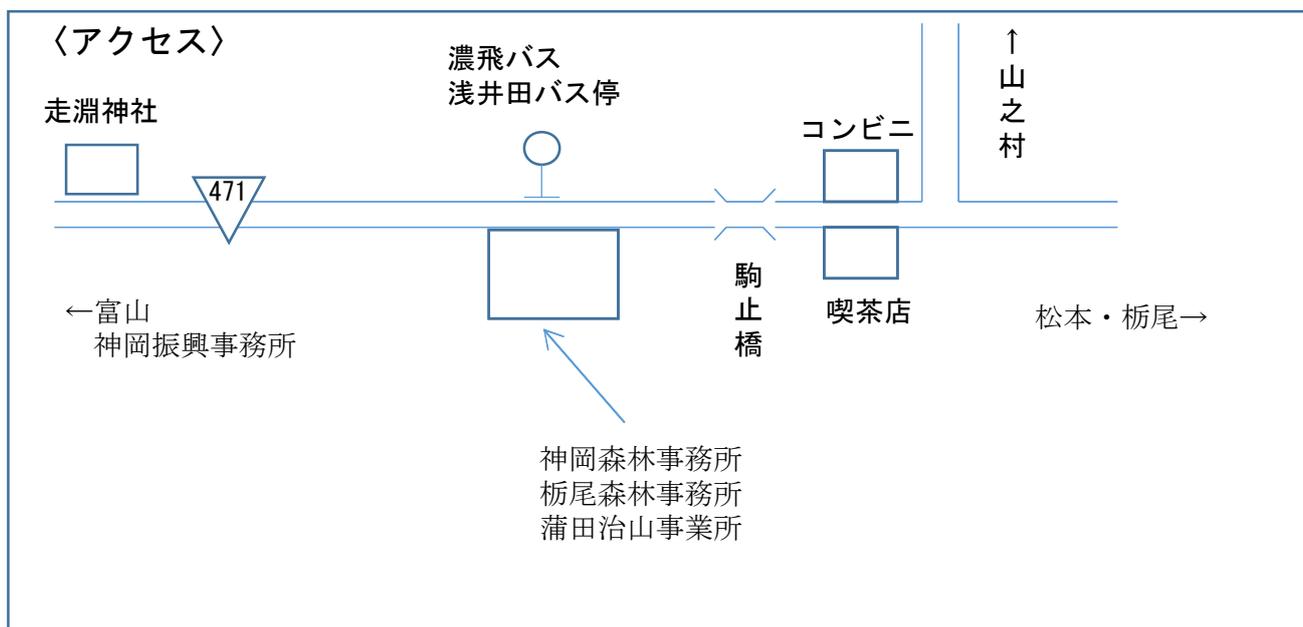
境界管理 境界巡視ほか

二ホンジカ対策 センサーカメラによる生息状況調査

林道改良工事

復旧治山工事（平湯国有林、福地国有林）

注）事業については、令和6年3月段階の予定であり、変更もあります。



林野庁 中部森林管理局 飛騨森林管理署 栃尾森林事務所

〒:506-1133 岐阜県飛騨市神岡町数河827-2

TEL:0578-82-0046